

校 報

ましみず

7月号
掛合小学校
平成21年7月発行

第一学期の終わりにあたって

校長 富田真樹

満開から散り初めのあたりで新入生を迎えた校舎の前の桜の木は、今、昼はニイニイゼミ、夕方はヒグラシにその幹や枝を与えています。

季節が巡り、間もなく梅雨も明けようとしています。この一学期の授業日数は六十九日(一年生は六十八日)でした。いつものことながら、過ぎてしまふとあっという間の日々ですが、この一学期の間に、子どもたちは確実に成長しました。

毎朝、職員室に健康観察簿を取りに来るようになっていた一年生の二人の女の子がいます。係活動の一つとしてこの一学期間ずっとそれを続けてきました。当初から元気のよい大きな声で「失礼します。健康観察(簿?)を取りに来ました。」と言って、部屋に入ってくる姿に感心したのですが、それは初々しさのある可愛らしい様子でした。それが今は、観察簿を教室に持ち帰るときの廊下を歩く姿に、何とも言い難い自信、誇りのようなものを感じさせる雰囲気があります。それは私の鈍い直感的なものではありませんが、成長を感じるシーンとして見ているところです。

島根県の学力調査の結果が示されました。学年によってまちまちの面があり、克服しないとけないところも見受けられます。七月末からの家庭

訪問の折に個人帳票をお渡ししますのご意見をお聞かせください。

四月末にメキシコで発生した新型インフルエンザは、急速に世界中に広がり、島根県でも感染が認められるまでになりました。症状が軽いため大きな混乱に至らなかつたことは幸いでした。今後秋から冬にかけて再び蔓延する恐れもありますし、強毒性の鳥インフルエンザが発生する可能性もあります。今年度は引き続き、新型インフルエンザに対して十分な警戒をする必要があると考えています。

また、今月初めには出雲市において中学生による大変な事件が起きてしまいました。子どもたちをはじめ、関係の方々への心痛はいかばかりかと思えます。改めて、子どもの気持ちを受け止めることの難しさ、そしてそれ以上に受け止めることの大切さを感じた出来事でした。

PTA様、後援会様には大きな大きな課題に向から取り組むことになることになりました。関係の皆様方の熱いご意志、ご尽力に深甚なる敬意を表するものでございます。

保護者の皆様、地域の方々のご理解ご支援の影で、この一学期が無事に終えられますことに心からお礼を申し上げます。ありがとうございます。

これから始まる夏休みは、一学期間頑張ってきた子どもたちへのご褒美でもあります。授業日数の確保のために、二学期の始まりを早くしました。各ご家庭におかれては、この夏休みがお子様にとって有意義で思い出深いものとなりますよう、よろしくお願い申し上げます。



6年生は6月11日(木)に尾原ダムの近くで行われた「どんぐりの森づくり活動」の一環の植樹祭に参加しました。

今年から、植樹祭参加は6年生、竹ポットづくりは5年生が行うことになりました。

ここでも地域の皆様にいろいろとお世話になっています。



今年も5年生は、佐藤忠正様の水田で田植え体験をさせていただきました。秋には、刈り取り体験、冬にはとれたもち米での餅つき体験も予定されています。また、わかば、やまびこ学級は多根地区、松笠地区で貴重な体験学習をさせていただきました。



わくわくお話隊
夏のスペシャルバージョン
「ヤマタノオロチ」

七月十日(金)に、今年度第一回スペシャルバージョンとして上演されました。「ヤマタノオロチ」は、神話「八岐大蛇」をお話隊の代表である小川真里さんが朗読劇風にアレンジされたものです。

迫力のある朗読にチェロ、ピアノ、太鼓などの効果音があわったパフォーマンスに子どもたちは圧倒され、神話の世界に浸り切りました。教室に帰った一年生が書いた感想には、

(左下横書きに続く)



上のような感想画がたくさんありました。聞いている子どもたちの脳裏に、このような映像が浮かんでいた証左です。感想画を描いた子どもたちの表現も素晴らしいですが、そのような情景がリアルに想像できた朗読劇がいかに素晴らしかったかということでもありましょう。



徒さん十名の方は、本校の音楽室で

「めだか学級」

七月十六日、多根尋常小学校の生



7月6日(月)、雲南市水泳指導教室の3名の指導者の方に来ていただきました。1年、2年、4年のvcfw児童が指導を受けました。正味は35分間ぐらいの短

水泳指導



したが、だるま浮き、けのび、面かぶりコントロールや息継ぎなど、3グループに分かれて、いろいろ教わりました。

指導に来てくださったのは、三刀屋町にお住まいの加藤様、星野様、宮崎様です。

おことわり
前号で、切り絵教室の講師としてくださった陶山様のお名前に間違いがありました。正しくは「陶山広之」様です。訂正してお詫びいたします。



多根尋常小学校の「めだか学級」は、篠原元校長先生が多根小学校にご在職のころに開校した、多根公民館事業の一つです。生涯学習を熱心に行っています。



旧多根小学校で平成十三年から四年間校長先生をされていた篠原健二先生の講義を受けられました。
その後、同行された多根尋常小学校の石飛安弘校長先生、白築公民館長様、落部主事様も一緒にいられて、ランチルームで三、四年生との交流給食の時間を過ごされました。

雲南市小学校連合音楽会

(三刀屋・吉田・掛合地区)

六月二十五日(木)にアスパルで行われました。本校からは、四年生三十五名が参加し、合奏「ペコリナイト」と合唱「ぼくの応援歌」を発表しました。



迫力のあるリズムミカルな合奏は、間奏部分でダンスが入ったり、パーカッションに合わせて「We are Kakesho」などの掛け声が入ったりと、心が躍り、体が自然にリズムを刻むような素晴らしい演奏でした。また、合唱も高音部では頭声の澄んだ声が響き、元

気のよい四年生らしい発表でした。



校内ドッジボール大会



体育委員会が計画して、色別対抗で行われました。子どもの遊びや運動の時間を生み出すために、今年から水曜日は掃除をやめて長い昼休みにしています。1年生から6年生までが同じコートに入ってプレーしました。

掛合太鼓

伝統の掛合太鼓は、五年生と六年生が取り組みます。昨年は統合一年目ということもあり、各地区での催しに参加するのは、その地区の児童という原則で対応していましたが、今年度からそれを撤廃しました。掛合太鼓は掛合町全体のものであり、地区にこだわるべきではないという考え方です。今後、各地区で行われる催しに掛合太鼓の発表の場があれば、五、六年生全員が参加して披露します。八月二十日のかけやえびす祭りが今年度最初の演奏になります。これまでどおり、掛合太鼓保存会の松下様はじめメンバーの皆様にご指導いただきます。



まずは基本。脚の開き、腰の向き、背筋の伸び、ばちの持ち方などに繰り返しの指導が入ります。

掛合分校の生徒さんと

七月三日(金)の「ほほえみタイム(読み聞かせの時間)」には、一年から六年までの全部の教室に三刀屋高掛合分校の生徒さんが来て、読み聞かせをしてくれました。



また、昼休みの時間は、ちょうど高校の掃除の時間と重なっています。左の写真は、窓の外に小学生の語りかけに応じてく



保育所、小学校、中学校、高校の4校連携では、今年の夏休みも「あいさつ」と「アウトメディア」の2点で共通の目標を立てています。

御寄贈ありがとうございます

七月の青少年の非行問題に取り組む強調月間の一環として、掛合地区保護司の落合様、山中様、永瀬様がご来校になり、全校児童にノート、鉛筆、消しゴムのセットをいただきました。



環境のことを考えた鉛筆など、人にやさしい文具セットになっています。早速、子どもたちに渡しました。

地域の講師の方を招いて

また、松笠の藤飛昭憲様からは、手作り竹ほうきを十数本いただきました。クラブ活動は隔週で四年生以上が取り組んでいます。実験クラブには、今学期三名の方が来てくださいます。(写真下段左)



校舎前の駐車場を、いただいた竹ほうきで掃除しています。



当日は雲南消防署から訓練資材を持参して署員の方に来ていただきました。保護者の方の中にも署員の方がおられ、非番で参加されたお父さんもアシスタントとして活躍されました。

心肺蘇生法講習会

六月二十三日(火)の学習公開の折に、PTA保健体育部の事業として行われました。



「環境」をテーマとした内容に、子どもたちも真剣そのものです。

天根谷雄様、山中洋美様、神田みゆき様にご指導いただきました。

☆ 地区懇談会を終えて

七月一日から三日までの三夜連続で、波多・入間地区、掛合地区、多根・松笠地区の延べ五会場で行いました。そこで出されたことながら、学校として確認した事項をお伝えします。

- ・ 入間小学校相撲場柱腐食により、立入禁止。閉校した各小学校の遊具の安全に注意する。
- ・ 言葉づかいは、家庭でもよくない。学校、家庭、地域一体となった指導が必要。呼び捨てをしないように、保育所など関係機関とも連携していく必要がある。
- ・ 筆箱の種類について特に規定はないが、鉛筆が必要数きちんと入り、折れないようにしておく。
- ・ 午前中練習に参加するSB利用児童のうち、プール利用のため午後も残る児童数の確認の仕方。
- ・ 自転車に乗れる範囲は、1～3年は家の周り。4～6年は旧小学校区内。
- ・ 午前中部活動後、プール開放までは図書室で過ごすことができる。
- ・ 体力が落ちている。落ちないように対応を考えていかないといけない。
- ・ 夏休みのめあてを学級ごとにたて、取り組む。
- ・ 波多、入間プール便の到着がぎりぎりなので、他地区の子どもは先に入水準備をしておいてほしい。

※ スクールバス補助席にシートベルトを設置すべき。